重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: 蒸気機関	現地の通称: 蒸気エンジン

資料種別: ○ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ◉ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類: 動力・分野				
	☐ 人力用具	☐ 耕起前器具	☐ 管理防除	☐ 貯蔵関連
	☐ 畜力用具	☐ 耕耘用具	☐ 収穫機	☐ 施設類
	☒ 原動機具	☐ 整地用具	☐ 調製機器	☐ 機素
	☐ トラクタ用機	☐ 施肥播種	☐ 加工機器	☐ その他

管理プレートNo. 牝牛舎011

台帳No.

製作者・会社:　　製造市・国名

製造年_購入年,標本収集年:　明治末期に輸入

使用目的・使用方法等

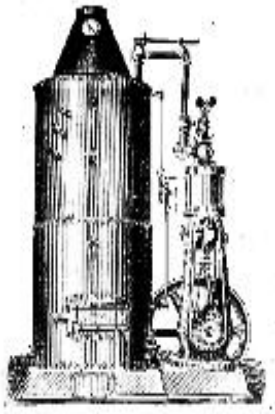
動力源　：1769年にジェームズ・ワットが効率のよい蒸気機関の原理を発明して産業革命の契機となったものの、圧力釜の爆発などによって高圧で安定した釜の開発が遅れ、蒸気機関が実用化・市販されたのは1804年イギリスで蒸気機関車が使われたのが始めとされる。1807年フルトンが外輪船の蒸気船を作ってハドソン川を走行した。

利用経過_収集記録_意義等

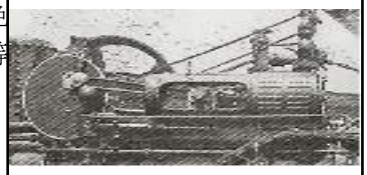
全体図左写真は、北大第２農場での利用事例で大正２年新築なったサイロへのデントコーンのサイレージ切り込み作業。蒸気機関とコーンを切断・吹き上げるエンシレージカッタの組合せ。右は別の市販品カタログによる。下左端は、小岩井農場トラクションエンジンのピストン・クランクホイール部。
また、明治　年建築の原動機室にも火炉を設置した後があり、蒸気エンジンが備えられたと考えられる。

仕様書_解説等

右に全体図



外観特色関連図等



資料の所在

写真のみ

資料への特記事項

資料管理経過

作業メモ・上掲欄の超過文追記

台帳管理番号